

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	ザルカ県ハシミヤ市職業訓練センターによる職業訓練を通じ、青少年の能力が向上し、本「キャリア形成モデル」が地域に波及する。
(2) 事業内容	(ア) 職業訓練プログラム：地域における青少年の教育水準、マーケットニーズ、職業訓練機会を考慮し、①機械修理コース、②PCコース、③共通コースの職業訓練プログラムを実施した。また、コース過程において、意欲・能力が高い参加者を協力企業・団体に派遣し、コースで修得した技能を職場で実践するOJTを実施する。加えて、基礎的な能力の向上が必要な参加者には職業訓練センターにてOJT研修を実施する。 (イ) 就業支援プログラム：職業訓練プログラム受講生を対象に、履歴書の作成方法や採用面接のシミュレーションを実施する他、企業・団体の雇用ニーズを把握し、求職者とマッチングさせる。また、女性の社会的地位向上や就業について講習を行い、女性の社会進出を支援する。 (ウ) 情操教育プログラム：将来への不安を抱き、サポートを必要とする希望者を対象に、自身の適性を見極め、将来の適格な進路を選択できるようキャリアカウンセリングを実施する。加えて、円滑かつ効果的な就職活動と就業を実現するため、コミュニケーション能力及びリーダーシップの育成を図る。さらに、OJT参加者を主対象にOJT経験をシェアリングする場を設け、就業へ繋げることを目指す。
(3) 達成された効果	(ア) 訓練プログラム：就職に有用な技能・情報の習得 (1) 就職およびOJT候補先として、<u>14社</u>との関係が構築された。そのうち、<u>5社</u>にてOJT研修が実施された。 (2) ターム1開始にあたり、各職業訓練コースの事前テスト、カリキュラム内容及び教材に関して各講師と相談しながら、改訂を行った。 (3) のべ<u>80名</u>が、キャリア形成モデルに沿った職業訓練コース（①機械修理コース、②PCコース）を受講した。さらに、のべ<u>77名</u>が基礎能力向上のため、③共通コース（コンピュータスキル及び英語クラス）を受講し、就業に向け有用な技能の向上を図った。第1タームの全クラスを終了し、参加者の<u>61%</u>が合格基準点を達成し、のべ<u>95名</u>が修了書を受領した。 (4) 外部団体・企業および本職業訓練センターにて<u>20名</u>の訓練生がOJT研修に参加した。関係を構築した5社に<u>13名</u>を派遣、職業訓練センターにて<u>7名</u>がOJT研修に参加した。 (イ) 就業支援プログラム：就職に有用な情報の習得 (1) ソフトスキルトレーニングとして、ワークショップを実施し、履歴書の作成方法や採用面接のシミュレーションの指導などを計<u>52名</u>が受講し、就職活動へ備えた。また、アンケートの結果、参加者の<u>54%</u>が有用と感じた。 (2) ターム1終了後間もないため、就業機会を得た参加者については現在集計中である。 (3) 女性の生計向上を目的として、キャンドル製作講習1回、石鹸製

	造およびラッピング講習を各 1 回開催した。事業地近隣に住む女性が計 3 日間、<u>のべ 38 名</u>が参加した。アンケートの結果、参加者の <u>79%</u>が有用と感じた。 (ウ) 情操教育プログラム：ストレスへの対処方法、協調性、社会性の習得 (1) 訓練生が自身の進路を描けるようにキャリアカウンセリングを希望者全員に対して提供し、<u>計 58 名</u>が受講した。自身および取り巻く環境を含めた現状の認識、進路指導を通して、参加者は就職に対する心構えを学んだ。 (2) 5 日間のワークショップを実施し、自己分析、労働市場を取り巻く環境、ロールプレイを通じた問題解決能力、時間管理能力などに関する講義を<u>計 52 名</u>が受講し、就職活動への心構え、コミュニケーションおよびリーダーシップを学び、就業意欲を高めた。また、アンケートの結果、参加者の <u>54%</u>が有用と感じた。 (3) 外部団体にて OJT 研修に参加している 5 名が本職業訓練センター参加者約 40 名に対して、職場での心構え、学ぶことの大切さ、コミュニケーションの重要性などを共有するシェアリングセッションを <u>1 回</u>開催した。 (4) 情操教育プログラム内で就職支援として最も有用であるキャリアカウンセリングおよび OJT 研修経験者によるシェアリングセッションを主としたプログラムを移管する方針で、移管体制を調整している。
(4) 今後の見通し	本事業前半における取組を強化・継続し、青少年の就業機会拡充に取り組む。職業訓練プログラムでは、労働市場調査および事業主の雇用ニーズに基づいた職業訓練コースの開講およびカリキュラム・シラバス・教材の改訂を行う。加えて、更なる OJT 研修先の開拓を目指す。就業支援プログラムでは、現地スタッフも就業に必要なスキルの指導方法を学ぶことで、より一層ソフトスキルトレーニングを強化する。情操教育プログラムでは、受講生からの評価に基づき、キャリアカウンセリング、ワークシェアリングセッションの内容の拡充に取り組む。また、当会撤退後、本事業における成果の長期的な継続を目指し、既存の現地 NGO や現地スタッフが立ち上げる団体などから適切な体制を構築し、事業運営のノウハウ移転を行うとともに、財政面を含めた運営基盤の確立を図る。